

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(溢水防護)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/3/1	NS2-添1-032(比)	比較表(VI-1-1-9-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)	P.15	「元弁の閉止する運用」について、記載を適正化して説明すること。	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)元弁の閉止する運用 (新)元弁の閉止運用	NS2-添1-032 改01「VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針」P.6 NS2-添1-032 改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)」P.15		
2	2022/3/1	NS2-添1-032(比)	比較表(VI-1-1-9-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)	P.27	被水防護カバーについて、「溢水伝播を防止する機能を維持する」としているが、記載を適正化して説明すること。	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)溢水伝播を防止する機能 (新)被水影響を防止する機能	NS2-添1-032 改01「VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針」P.11 NS2-添1-032 改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)」P.27		
3	2022/3/1	NS2-添1-033	施設共通説明書	VI-1-1-9-2 防護すべき設備の設定	P.78	溢水防護区画について、吹き抜け部は区画番号を採番しておらず、溢水防護対象区画に設定していないことが分かるように記載を適正化して説明すること。	図2-1(1/14)について、吹き抜け部だと分かるよう、吹き抜け部には斜線処理し、記載を適正化しました。	NS2-添1-033 改01「VI-1-1-9-2 防護すべき設備の設定」P.78		
4	2022/3/1	NS2-補-015	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.73	「他の機器で代替できる設備」を理由に溢水評価対象外とする設備について、代替する他の機器との関係を説明すること。	他の機器で代替できる設備について、代替する他の設備との関係が分かるよう追記しました。	NS2-補-015 改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.1.2-16(通し頁P.87)		
5	2022/3/1	NS2-補-015	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.13.41	溢水防護対象設備と重大事故等対処設備の機能喪失高さの有効数字が相違しているため、適正化して説明すること。	機能喪失高さの有効数字は小数点2桁とし、表1.1-2の機能喪失高さの記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.1.1-6~33(通し頁P.12~39)		
6	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.118	応答スペクトル手法に基づく地震動であるSs-Dを用いているため、3方向入力ではなく、「NS方向+UD方向の解析」と「EW方向+UD方向の解析」の溢水量を組み合わせていることを説明すること。また、この溢水量の組み合わせが保守的であることが分かるように記載を適正化して説明すること。	応答スペクトル手法に基づく地震動であるSs-Dを用いているため、3方向入力ではなく、「NS方向+UD方向の解析」と「EW方向+UD方向の解析」を実施していることをそれぞれ追記し、解析評価の内容が分かるように記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-2(通し頁P.89)		
7	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.118	ハウスナー理論により算出したスロッピング周期について、計算に用いた数値及び得られた周期の結果がわかるように記載を適正化して説明すること(他のプールも同様)。	燃料プール、原子炉ウェル、DSP、サイトバンカ貯蔵プール及び輪谷貯水槽のハウスナー理論により算出した固有周期について、計算に用いた諸元と算定した固有周期の結果が分かるよう表を追記し、記載を適正化しました。	NS2-補-015 改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-1,17.28(通し頁P.88,104,115)		
8	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.121	図7.3-3Iについて、グラフが不鮮明なため、記載を適正化して説明すること。	図7.3-3Iについて、グラフが鮮明になるよう適正化しました。また、原子炉ウェル及びDSPの固有周期を追記しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-5(通し頁P.92)		

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
9	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.123	図7.3-5に記載されている埋設ダクトについて、解析上どのように考慮しているか説明すること。	2022/5/19	埋設ダクトに流入した水はプールに戻らないよう設定していることが分かるよう表7.3-2及び表7.3-3の記載を適正化しました。本修正に伴い「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」の表2-10及び表2-12も適正化しました。	NS2-添1-034改01「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」P.13,15 NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-3(通し頁P.90)	
10	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127	溢水水位について、算出過程がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	溢水水位の計算過程について、算出した計算式及び考慮した滞留面積が分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-15,16(通し頁P.102,103)	
11	2022/3/15	全般	全般	全般	全般	解析モデルに対して、高さ(EL)、初期水位、寸法、座標等の諸元がわかるように記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	解析モデル等、各図表に必要な諸元(高さ(EL)、初期水位、寸法及び座標)が分かるよう記載を適正化しました。また、本修正を「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」に展開し、関連する図表を適正化しました。	NS2-添1-034改01「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」P.13,15,16,17 NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-4,7.8,19,22,23,30,33,34(通し頁P.91,94,95,106,109,110,117,120,121)	
12	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.136	表7.3-9の滞留面積について、考慮した範囲がわかるように、堰の位置を示した上で説明すること。	2022/5/19	表7.3-9の滞留面積について、考慮した範囲及び堰との位置関係が分かるよう図7.3-13に反映し、記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-15,7.3-16(通し頁P.102,103)	
13	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.140	図7.3-15について、上部空間がわかるよう記載を適正化して説明すること(輪谷貯水槽も同様)。	2022/5/19	図7.3-18及び図7.3-25について、上部空間が分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-23,34(通し頁P.110,121)	
14	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.146	図7.3-19について、初期水位、プール上端位置及び初期水位からの最大水位の関係がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	サイトバンク貯蔵プールの初期水位とプール上端位置の標高を記載した寸法図を追加し、最大波高時間近傍における液面状態の図については、初期水位からの最大水位であること、初期水位とプール上端位置の標高は寸法図を参照することが分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-22,26(通し頁P.109,113)	
15	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.154	図7.3-25の最大水位について、基点となる位置がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	最大波高時間近傍における液面状態の図については、初期水位からの最大水位であること、初期水位とプール上端位置の標高は寸法図を参照することが分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-36(通し頁P.123)	
16	2022/3/15	NS2-添1-034	施設共通説明書(VI-1-1-9-3)	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.19	土石流によるタンク損傷によりプラントへ与える影響がないとする理由を説明すること。	今回回答	「補足説明資料6.2 屋外タンク等からの溢水評価」に、土石流による屋外タンク等からの溢水評価を実施し、防護すべき設備に影響がないことを記載しました。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-32~59(通し頁P.198~225)	
17	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127,128	1.3項及び1.4項で記載すべき事項を整理し、説明すること。	2022/5/19	本資料はスロッシングによる溢水量の算出について補足説明する資料であることから、「1.4 燃料プールのスロッシング後の冷却機能及び遮蔽機能維持の確認」については、説明書「VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価」に記載することとし、本資料からは記載を削除しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-14(通し頁P.101)	
18	2022/3/15	全般	全般	全般	全般	数値や図の引用が適切にされていることを確認し説明すること。	2022/5/19	固有周期算定に用いた数値を記載し、また、モデル図、寸法図に初期水位、プール壁上端、底面EL等の関連数値を追記することで、資料内の数値及び各図表について、記載元から適切に引用されていることを確認できるように、記載を適正化しました。	NS2-添1-034改01「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」全般 NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」全般	
19	2022/3/15	NS2-添1-036	施設共通説明書(VI-1-1-9-5)	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.23	図4-17について、弁の開閉状態を適正化して説明すること。	2022/5/19	図4-17のろ過脱塩装置バイパス弁の開閉状態について、「開」に修正しました。	NS2-添1-036改01「VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計」P.23	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
20	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.113	VOF値0.5について、確認して説明すること。また、最大水位の算出方法を確認して説明すること。	今回回答	VOF値0.5は、計算格子における水と空気の割合が50:50であり、VOF値0.5で気液界面(水面)を定義した場合、水面の高さは計算格子の中心と一致します。また、最大水位の算出は、VOF値0.5の最大高さとしています。	NS2-補-015 改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-31(通し頁P.121)	
21	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.96	埋設ダクト流入量について、時刻歴データを追加して説明すること。	今回回答	図4.3-11及び図4.3-12に、埋設ダクト流入量の時刻歴データを追加しました。	NS2-補-015 改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-12,13(通し頁P.102,103)	
22	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.88,104,115	ハウスナー理論によるスロッシングの固有周期の計算方法について、確認して説明すること。	今回回答	原子炉ウェルのスロッシング固有周期の算定には、円筒の式を使用しており、矩形の式に加えて円筒の式を追記しました。	NS2-補-015 改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-2(通し頁P.92)	
23	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.101他	埋設ダクトの容積と流入量の関係を記載して説明すること。	今回回答	埋設ダクトの容積に対し、埋設ダクトへの流入量の方が大きく、埋設ダクトへの流入を考慮しない方が、原子炉建物4階への溢水量が大きくなるため、埋設ダクトに流入しない条件でスロッシング解析を実施し、溢水量を算出しました。なお、燃料プールの水位低下については、埋設ダクトを考慮した方が低下量が大きくなるため、埋設ダクトに流入する条件での溢水量を用いています。	NS2-添1-034 改03「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」P.13~17 NS2-補-015 改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-5,7~20(通し頁P.95,97~110)	
24	2022/6/23	NS2-補-020改 15	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.269	敷地流動解析の解析コード、解析手法、条件等を説明すること。	今回回答	敷地流動解析の解析コード、解析手法、条件等について、「補足説明資料6.2 屋外タンク等からの溢水評価」に記載しました。	NS2-補-015 改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-6,7,34,35(通し頁P.172,173,200,201)	コメント移動
25	2022/6/23	NS2-補-020改 15	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.269	敷地流動解析において、輪谷スロッシング水及びタンクの喪失をどのように模擬しているか説明すること。	今回回答	敷地流動解析の輪谷スロッシング水及びタンクの喪失をどのように模擬しているかについて、「補足説明資料6.2 屋外タンク等からの溢水評価」に記載しました。	NS2-補-015 改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-6~8,34~36(通し頁P.172~174,200~202)	コメント移動

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(溢水防護)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～50について、NS2-他-123改01で整理済みのため省略。						
51	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	目次	資料修正に伴うページ番号の変更を反映しました。	2022/9/30	
52	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.12	表2-9のうちスロッシングによる溢水量について、スロッシング評価に用いた地震動及び溢水評価の目的が分かるように記載を追記しました。	2022/9/30	
53	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.14他	表2-10の追加に伴う表番号の変更を反映しました。	2022/9/30	
54	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.14,15,17,18	記載の整合性の観点から、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)内部溢水影響評価に用いる溢水量を (新)溢水評価に用いる溢水量を	2022/9/30	
55	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.14	図2-2に、埋設ダクト吸入口を追記しました。	2022/9/30	
56	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.15,17	表2-12,14の表題について、溢水評価の目的を表す記載に変更しました。	2022/9/30	
57	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.15	2.3(3)b.項の項題について、気水分離器・蒸気乾燥器ピットの記載を略称に変更しました。(下線部参照) (旧)燃料プール、原子炉ウエル及び気水分離器・蒸気乾燥器ピット (新)燃料プール、原子炉ウエル及びDSP	2022/9/30	
58	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.17	サイトバンカ貯蔵プールのスロッシングについて、サイトバンカ建物で発生する溢水により防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがないことが分かるように記載を追記しました。	2022/9/30	
59	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.18	表2-17において、地震条件の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧): $S_s - D$ (新): $S_d - D \times 1/2$ また、表中のNS+UD方向、EW+UD方向の番号を丸番号(①, ②)に変更しました。	2022/9/30	
60	NS2-添1-034改03	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.19	表2-19において、輪谷貯水槽(東側)の工認用の地震応答解析結果(スロッシング解析結果)を反映しました。また、表中のNS+UD方向、EW+UD方向の番号を丸番号(①, ②)に変更しました。	2022/9/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
61	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.57,58	表2-10において、以下の誤記を修正しました。 (旧)所内ボイラ (新)補助ボイラー	2022/9/30	
62	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.57,58	表2-10において、輪谷貯水槽(東側)の設工認用の地震応答解析結果(スロッシング解析結果)を反映しました。	2022/9/30	
63	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.59	記載の整合性の観点から、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)溢水防護区画への浸水経路に対して伝播 (新)溢水防護区画へ伝播	2022/9/30	
64	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.59	記載の整合性の観点から、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)屋外に設置する防護すべき設備 (新)また、建物外に設置されている防護すべき設備	2022/9/30	
65	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.60	記載の整合性の観点から、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)建物外の防護すべき設備 (新)建物外に設置されている防護すべき設備	2022/9/30	
66	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.60	表2-11において、記載の整合性の観点から、適正化しました。(下線部参照) (旧)流入経路 (新)溢水経路	2022/9/30	
67	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.60	表2-11の評価結果に、緊急時対策所、ガスタービン発電機建物、第1ペントフィルタ格納槽及び低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽に対する評価結果を追加しました。	2022/9/30	
68	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.60	緊急時対策所等の評価結果追加に伴い、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)建物外壁 建物廻り (新)建物等の外壁 建物等の廻り	2022/9/30	
69	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.60	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)ディーゼル燃料移送ポンプ (新)燃料移送ポンプ	2022/9/30	
70	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.60	記載の整合性の観点から、以下のとおり修正しました。 (旧)溢水防護区画への伝播はない。 (新)防護すべき設備は要求される機能を損なうおそれがない。	2022/9/30	
71	NS2-添1-035改01	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.62	表2-12において、溢水水位及び区画番号の誤記を修正しました。	2022/9/30	
72	NS2-添1-036改03	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	目次	資料修正に伴うページ番号の変更を反映しました。	2022/9/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
73	NS2-添1-036改03	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.9,10,12	図4-1, 図4-3, 図4-5を鮮明化しました。	2022/9/30	
74	NS2-添1-036改03	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.13他	溢水用防水壁の漏えい試験の内容を追記し, 図4-7に溢水用防水壁の漏えい試験概要図を追記しました。併せて後続の図書番号も修正しました。	2022/9/30	
75	NS2-添1-036改03	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.16~18, 31~34	図4-10の貫通部止水処置を実施する箇所において, 屋外タンク等溢水に係る対策等を追加修正しました。	2022/9/30	
76	NS2-添1-036改03	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.16~25,33	図4-10(1/19~10/19, 18/19)原子炉建物, タービン建物, 廃棄物処理建物, 復水貯蔵タンクのEL記載を鮮明化しました。	2022/9/30	
77	NS2-添1-036改03	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.43	図4-17に原子炉建物のELを追記しました。	2022/9/30	
78	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	全般	前回のヒアリングで変更した目次を全ての資料に反映しました。	2022/9/30	
79	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	全般	他の図書との記載の統一のため, 重力加速度の記号を修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/30	
80	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.3	「7.5 浸水防護施設の止水性」は浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料として説明するため, 目次から削除し, 後続の資料番号を修正しました。	2022/9/30	
81	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.53	他の図書との記載の統一のため, 図書の呼び込み方を修正しました。(下線部参照) (旧)添付資料VI-1-1-9-3「溢水評価条件の設定」 (新)VI-1-1-9-3「溢水評価条件の設定」	2022/9/30	
82	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.63	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)B, Cクラス (新)B及びCクラス	2022/9/30	
83	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.91	溢水量を算出する目的として, 燃料プールの機能維持に対する評価及び防護すべき設備の機能維持に対する評価を実施することを追記しました。	2022/9/30	
84	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.91	図4.3-2に埋設ダクト吸入口を追記しました。	2022/9/30	
85	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.92	以下のとおり表現を見直しました。(下線部参照) (旧)ハウスナー理論により算定することとし (新)ハウスナー理論により算定し	2022/9/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
86	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.92,93	表4.3-1に円筒の式と式中の記号の説明を追記しました。また、原子炉ウエルの固有周期算定において、大小2通りの寸法に対する算定過程を記載していましたが、原子炉ウエルの直径である11.220(m)のみとし、記載を適正化しました。併せて図4.3-3の原子炉ウエルの記載を修正しました。	2022/9/30	
87	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.92	表4.3-1において、注記の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)下記ハウズナー理論により算定 (新)以下のハウズナー理論の式により算定	2022/9/30	
88	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.92	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)NS方向+鉛直方向入力の解析結果と (新)NS方向+鉛直方向入力の解析と	2022/9/30	
89	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.92	以下の表現を見直しました。(下線部参照) (旧)の解析をそれぞれ実施することとする。 (新)の解析をそれぞれ実施する。	2022/9/30	
90	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.93	図4.3-3に固有周期を表す範囲の矢印を追記しました。	2022/9/30	
91	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.95,96他	表4.3-2及び図4.3-5の追加に伴い、図表の配置を適正化しました。 併せて後続の図番号も修正しました。	2022/9/30	
92	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.95,96	図4.3-5として、燃料プール、原子炉ウエル及びDSP廻りの埋設ダクト敷設状況を示す図を追加しました。	2022/9/30	
93	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.101	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)また、一度燃料プール外へ溢水した水が (新)また、一度燃料プール等の外へ溢水した水が	2022/9/30	
94	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.105,106	図4.3-14及び図4.3-15の図題に解析ケースを追記しました。また、水平方向及び鉛直方向の座標表示を、解析モデル図及びメッシュ図と統一しました。	2022/9/30	
95	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.108,122,133,139	記載の整合性の観点から、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)内部溢水影響評価 (新)溢水評価	2022/9/30	
96	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.108	表4.3-8、表4.3-9において、表題を溢水評価の目的を表す記載に変更しました。また、表中で参照している表番号を適正化しました。	2022/9/30	
97	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.108,122,133	表4.3-8、表4.3-9、表4.3-16、表4.3-20において、設定方法の記載を修正しました。(下線部参照) (旧)上記値に解析コードの検証結果を踏まえて (新)上記値に解析コードの不確かさを考慮して	2022/9/30	
98	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.110	記載の整合性の観点から、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)スロッシングを考慮した溢水評価 (新)防護すべき設備の機能維持に対する評価	2022/9/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
99	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.110	記載の整合性の観点から、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)溢水評価への影響 (新)溢水が他区画へ伝播しない	2022/9/30	
100	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.112	対象設備に関する記載を修正しました。(下線部参照) (旧)弾性設計用地震動Sdによる地震力によって生じる (新)サイトバンカ貯蔵プールに生じる	2022/9/30	
101	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.112	文章以下の表現を見直しました。(下線部参照) (旧)ハウスナー理論により算定することとスロッシング固有周期算定諸元及び (新)ハウスナー理論により算定する。スロッシング固有周期算定諸元及び	2022/9/30	
102	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.112,123	他の項目との記載の統一のため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)同位相の入力となるため、溢水量の評価としてはNS・鉛直方向入力の解析結果とEW・鉛直方向入力の解析結果の溢水量を合計して評価を実施することとする。 (新)同位相の入力となるため、NS方向+鉛直方向入力の解析とEW方向+鉛直方向入力の解析をそれぞれ実施する。	2022/9/30	
103	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.114	図4.3-19において、文字を明瞭にしました。	2022/9/30	
104	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.119	表4.3-15において、以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)Sd-D (新)Sd-D×1/2	2022/9/30	
105	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.121	図4.3-24の凡例の記載を、水面であることが分かるように記載しました。	2022/9/30	
106	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.122	4.3.2.3項の5行目において、文中の表参照の記載を適正化しました。	2022/9/30	
107	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.122	表4.3-16において、設定方法の考え方を追記しました。(下線部参照) (旧)上記値に対して保守性を考慮して設定 (新)上記値に対して保守性を考慮して設定(1の位を切り上げ)	2022/9/30	
108	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.124	表4.3-17において、寸法の誤記を修正しました。	2022/9/30	
109	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.125	図4.3-26において、文字を明瞭にしました。	2022/9/30	
110	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.126	図4.3-27において、輪谷貯水槽(東側)の設工認用の地震応答解析結果を反映し、加速度時刻歴波形を変更しました。	2022/9/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
111	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127	表4.3-18において、解析条件表の評価用地震動の内容に、短辺、長辺に沿った地震応答を算出し、スロッシング解析に適用している旨の注記を追記しました。	2022/9/30	
112	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.130~132	表4.3-19、図4.3-30及び図4.3-31において、輪谷貯水槽(東側)の設工認用の地震応答解析結果(スロッシング解析結果)を反映しました。	2022/9/30	
113	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.133	4.3.3.3項の5~6行目において、文中の表参照の位置を適正化しました。	2022/9/30	
114	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.136	図2において、寸法の引き出し線を追加しました	2022/9/30	
115	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.138	表1において、解析コードの不確かさを考慮して1.1倍している旨の記載を追記しました。	2022/9/30	
116	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.140	溢水伝播経路概念図を示す範囲を明確にしました。(下線部参照) (旧)廃棄物処理建物 (新)廃棄物処理建物(非管理区域)	2022/9/30	
117	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.141,142,143,148	設計進捗を反映し、伝播経路を最新化しました。	2022/9/30	
118	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.150	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)建物毎に示す。 (新)以下に示す。	2022/9/30	
119	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.151,152,156,159	設計進捗を反映し、溢水伝播経路モデル図を最新化しました。	2022/9/30	
120	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.164	他の図書との記載の統一のため、図書の呼び込み方を修正しました。(下線部参照) (旧)添付資料VI-1-1-9-4「溢水影響に関する評価」 (新)VI-1-1-9-4「溢水影響に関する評価」	2022/9/30	
121	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.164,166	他の図書との記載の統一のため、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)IPcode (新)IPコード	2022/9/30	
122	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.272,277,287	設計進捗を反映し、水密扉の情報を最新化しました。	2022/9/30	
123	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.274,287	波及的影響を考慮した耐震重要度分類の記載を追加しました。	2022/9/30	
124	NS2-補-015改07	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.289	図3(14/14)において、図を明瞭にしました。	2022/9/30	